

あなたに贈る健康へのメッセージ —— 知ってください病院のこと、身体のこと

2018  
第24巻第2号  
**秋**

# 医科大どおり

## CONTENTS

- ゲノム医療センター紹介
- 高額療養費について
- 病棟紹介（病院3号棟5階）
- スペシャリスト紹介（臨床心理士）
- お知らせ
- 研修医・指導医紹介
- はじめまして
- 私の好きな風景
- 医科大Q&A

医科大どおり

2018年 季刊誌 第24巻第2号 発行/金沢医科大学病院

編集/金沢医科大学病院ニュー入編集委員会



## 西坂さん

- おとうさん 千秋さま
- おかあさん 紗緒里さま
- 赤ちゃん 光織(みおり)ちゃん  
平成30年7月12日生  
2,712g 女の子

## はじめまして!!

緊急帝王切開での長男誕生から8年が経ち、今回3人目を妊娠し大学病院での出産を希望しました。健診では赤ちゃんの成長、子宮の状態を丁寧に説明してくださり、仕事を継続しながらも安心して産日をむかえることができました。緊張の予定帝王切開での出産は、家族をはじめ病院スタッフの方々や多くの人の支えがありました。そのおかげで、リスクを乗り越え元気な産声をあげて娘が誕生しました。感動と感謝の気持ちであふれ、幸せな新生活のスタートとなりました。素敵な出産の思い出をありがとうございました。



### 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

### 患者さんの権利

- 当院は、医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。
- 人間としての尊厳や人権が尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
  - 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
  - 十分な説明と、情報提供を受けたうえで、ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
  - 治療のどの段階においてもセカンドオピニオン（他の医療機関の医師の意見）を求めることができます。
  - 診療記録の開示を求めることができます。
  - プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
  - 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

### 患者さんへのお願い

- 当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。
- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
  - 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
  - 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
  - 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
  - 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 私の好きな風景

空中より吊り下げられた色とりどりのビニール傘が、真っ青な秋空のもとで美しく映えていた。

- 撮影場所 九谷陶芸村にて撮影



撮影：出版メディア課 中谷 渉

## お答えします！医科大Q&A

**Q** 高齢者がインフルエンザの予防接種を受けるにはどうしたらよいですか？

**A** 高齢者を対象にしたインフルエンザ個別予防接種事業が、各市町村にて実施されます。接種をご希望の方は、予防接種券をお持ちいただき主治医にご相談ください。

- ※接種券には有効期間がありますのでご確認をお願いします。
- ※お手元に接種券が届かない場合は、各市町村に問い合わせください。

(記：医事課診療支援担当 課長 中川 和美)



金沢医科大学病院外観

### 病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します

- 患者さん中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。



# ゲノム医療センター紹介

ゲノム (Genome) とは、遺伝子 (Gene) と全体を意味する (Ome) の合成語です。人間の体の中では約 2 万 5 千個の遺伝子が働いていますが、1 つ 1 つの遺伝子の DNA 配列には 0.1% 程度の個人差があり、それが積み重なってその人特有のゲノム (パーソナルゲノム) を作っています。双子でない限り、1 人 1 人のゲノムはみな違っていき、意外かもしれませんが、どのような人でも 300 個程度の遺伝子は変異を起こして働かなくなっています。どの遺伝子が働かなくなっているかは人によって異なるため、私たち 1 人 1 人は別々の体質を持って生まれてくることとなります。従来は 1 つの遺伝子を解析するのも大変でしたが、技術革新により多数の遺伝子を一度に解析することが可能となりました。このようなゲノム解析情報を直接医療に活かすのがゲノム医療です。ゲノム医療センターでは様々な疾患に対して、遺伝学的診察、遺伝カウンセリング、遺伝学的検査を提供しています。



センター長 新井田 要

ゲノム医療センターで行っている外来は次の 3 つです。



ゲノム解析室



カウンセリングルーム



赤ちゃん体操プレイルーム

## ①先天性/遺伝性疾患外来

希少難病の患者さんやそのご家族を対象としています。遺伝に関する相談や、診断確定のための検査を提供しています。指定難病や小児慢性特定疾患の申請の際に、遺伝子検査が必要となる場合がありますが、すべてゲノム医療センターで対応可能です。

## ②ダウン症等赤ちゃん体操教室

ダウン症やその他の染色体異常症、先天性疾患の乳幼児をもつご家族が対象です。定期的に通院して頂き、その時の発達段階に応じた、自宅で行えるリハビリテーションプログラムを専門の指導員がお教えします。また、療育相談や家族会のご紹介なども行っています。

## ③がんゲノム外来

遺伝しやすいがん (家族性腫瘍症候群) に対するカウンセリングと遺伝子検査を行っています。また、がん細胞の中で生じている遺伝子の変化を網羅的に調べる、がん遺伝子パネル検査も実施しています。

金沢医科大学病院では院内にゲノム解析室を設置し、患者さんの検査を院内で実施する事により検査料金のコストダウンを可能にしています。

【診療情報】 外来日 毎週月曜、水曜

(記：ゲノム医療センター センター長 新井田 要)

# 高額療養費について

平成30年8月から、70歳以上の方の高額療養費自己負担限度額が変わりました。

※65歳以上の方で後期高齢者医療制度に加入されている方も対象になります。

## ※平成 30 年 7 月までの自己負担限度額 (1 か月あたり)

|          | 適用区分              | 外来 (個人ごと) | 外来+入院 (世帯ごと)                |
|----------|-------------------|-----------|-----------------------------|
| 現役並み所得   | 課税所得 145 万円以上     | 57,600 円  | 80,100 円+(医療費-267,000 円)×1% |
| 一般所得     | 課税所得 145 万円未満     | 14,000 円  | 57,600 円                    |
| 住民税非課税世帯 | Ⅱ 住民税非課税世帯        | 8,000 円   | 24,600 円                    |
|          | Ⅰ (年金収入 80 万円以下等) |           | 15,000 円                    |



## ※平成 30 年 8 月からの自己負担限度額 (1 か月あたり)

|          | 適用区分              | 外来 (個人ごと)                            | 外来+入院 (世帯ごと) |
|----------|-------------------|--------------------------------------|--------------|
| 現役並み所得   | Ⅲ 課税所得 690 万円以上   | <b>252,600 円</b> +(医療費-842,000 円)×1% |              |
|          | Ⅱ 課税所得 380 万円以上   | <b>167,400 円</b> +(医療費-558,000 円)×1% |              |
|          | Ⅰ 課税所得 145 万円以上   | <b>80,100 円</b> +(医療費-267,000 円)×1%  |              |
| 一般所得     | 課税所得 145 万円未満     | <b>18,000 円</b>                      | 57,600 円     |
| 住民税非課税世帯 | Ⅱ 住民税非課税世帯        | 8,000 円                              | 24,600 円     |
|          | Ⅰ (年金収入 80 万円以下等) |                                      | 15,000 円     |

※現役並み所得、一般所得の方は過去1年以内に3回以上、自己負担限度額に達した場合は4回目から多数該当となり自己負担限度額が下がります。

平成30年8月以降、医療機関での支払いが高額になる可能性がある方は市町村窓口で「限度額適用認定証」の交付申請をしてください(一旦支払ってから払い戻すことも可能です)

詳細をお知りになりたい場合は、1号棟1階患者相談支援窓口までお越しください。

(記：地域医療連携事務課 医療福祉相談担当 浦川 亜矢)



# 病棟紹介 (病院 3号棟 5階)

病院 3号棟 5階病棟は、形成外科 8床、皮膚科 6床、肝胆膵内科 5床、救命救急科 5床、共用 7床の混合病棟です。

入院される患者さんの病気や障害の程度、生活する上で困っていることは様々で多岐にわたります。また、患者さんの年齢も小児から高齢者まで様々です。例えば、怪我で手術が必要な方や肝臓病などの慢性疾患で入退院を繰り返し検査や治療を受ける方、難治性皮膚疾患や褥瘡(床ずれ)の治療などです。スタッフは、患者さんが安心して療養生活を送ることができるように日々看護を実践しています。時間外での緊急入院も多いですが、どのような時も患者さんの安全・安心を第一に考え、看護しています。

当病棟には、皮膚排泄ケア認定看護師が 1名在籍しています。認定看護師を中心に最新の皮膚ケアが提供できるように取り組んでいます。退院した後も安心して過ごすことができるよう退院支援にも力を入れています。医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーなどが協働しながらチーム医療を展開しています。

## 皮膚排泄ケア認定看護師の役割

皮膚排泄ケア認定看護師は、人工肛門・褥瘡(床ずれ)・失禁への専門的なケアを行っています。入院中だけでなく外来でも継続して関わり、日常生活への支障が少なく快適に過ごせるような援助を実践しています。



病棟スタッフ

(記：病院 3号棟 5階病棟 師長 北村 昌美)

# スペシャリスト紹介

## 臨床心理士

### 臨床心理士とは

臨床心理士とは、臨床心理学に基づく知識や技術を用いて、人間の“こころ”の問題にアプローチする心の専門家です。日本臨床心理士資格認定協会が定める資格を持ち、医療・教育・産業・司法・福祉など多くの領域で心のケアを行っています。また、平成30年には心理学専門資格として初の国家資格となる「公認心理師」が誕生することになっています。当院では現在11名の臨床心理士が、それぞれ精神科、小児科、NICU(新生児集中治療センター)、認知症センター、女性外来、緩和ケア、精神科リエゾン、ゲノム医療センター(赤ちゃん体操教室)、職員支援センター(職員カウンセリング)、学生相談室で心のケアにあたっています(兼務含む)。

### 臨床心理士の主な仕事内容

#### ①心理アセスメント(心理検査)

病気や相談内容、年齢や体調に合わせ、認知機能の検査、発達検査、性格検査やストレスチェックなど、適切な検査を組み合わせ実施します。心理検査から得られた情報を今後の生活に役立てられるように、結果の説明と支援方法の提案を行います。

#### ②カウンセリング

十分な時間を確保して、お話を聴いていきます。基本的なカウンセリング技法に加え、相談内容に応じて芸術療法、音楽療法、遊戯療法、箱庭療法、就労支援、心理教育、認知行動療法、トラウマ治療(EMDR)、回想法、親子面接、家族支援、環境調整など、様々なアプローチを選択しています。

【実際の相談例】不登校、いじめ、子育て、人間関係(家族・夫婦・職場・学校等)、生きにくさ、病気との付き合い方、ハラスメント、仕事の適応、人生の振り返り、トラウマ等

### メッセージ

誰もが何らかの悩みを抱えています。誰にも話せないと考えたことでも、ゆったり守られた時間の中で、「誰かに話すことで楽になる」ことや、「見えていなかった自分の良さに気づく」こともあります。私たちはそんな心の整理や自分らしく生きるお手伝いのできたらと思っています。心理検査やカウンセリングを希望される方は、主治医の先生にお気軽にご相談ください。



臨床心理士スタッフ

(記：精神科 臨床心理士 竹本 早知子)



# お知らせ

## 患者駐車場が有料になりました。

### 【有料化する目的】

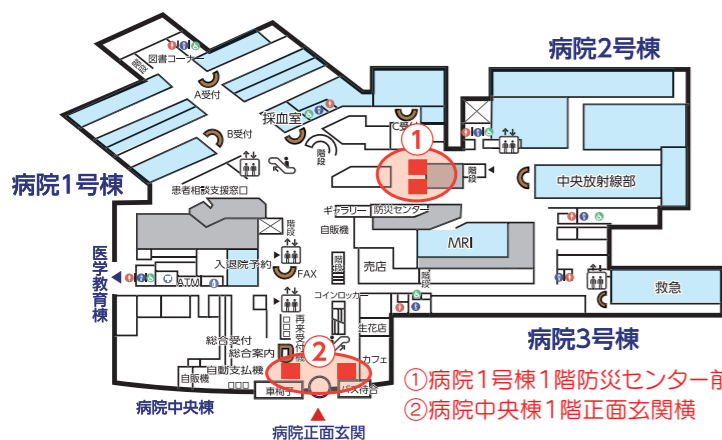
- ①駐車場の不正駐車防止を管理し適正な駐車場利用を行います。
- ②円滑な駐車場の利用を目指し、駐車場の整備を計画します。

※駐車料金の精算方法については、以下のとおりです。

|  |                   |
|--|-------------------|
| <b>外来患者さん</b>  | <b>100円 / 1回</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①お帰りの際、院内の事前精算機に駐車券を入れてください。</li> <li>②駐車券に続いて、受診された方は<b>当院診療券</b>を入れてください。</li> <li>③100円の料金が表示されますので、精算してください。</li> <li>◆診療券をお忘れになられた方は、駐車券及び当日の受診が確認できるものをお持ちになり、病院1号棟1階防災センター、総合案内へお申出ください。</li> </ul>    |                   |
| <b>入院患者さん、家族付添申請をされている方</b>  | <b>100円 / 1日</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①退院・外泊時に、駐車券をお持ちになり、病院1号棟1階防災センターへお越しください。利用日数に応じて駐車料金の、認証処理を行います。</li> <li>②認証処理後、院内の事前精算機に駐車券を入れてください。</li> <li>③料金が表示されますので、表示された金額を精算してください。</li> </ul> <p>注：家族付添申請をされている方は、同日中に複数回駐車場を利用しても1日100円です。</p> |                   |
| <b>上記以外の方</b>  | <b>100円 / 1時間</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①お帰りの際、院内の事前精算機に駐車券を入れてください。</li> <li>②料金が表示されますので、表示された金額を精算してください。</li> </ul>   |                   |

- 院内に事前精算機を設置しています。**お帰りの際**、事前精算機で料金を精算してください。
- **精算後の駐車券は、外の駐車場出口ゲートで必要になります。**忘れずにお受け取りください。
- **料金精算後は、30分以内に出車してください。**30分を超過した場合は追加料金が発生します。

### 事前精算機設置場所



### 家族付添許可証

|                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 家族付添許可証               |                           |
| 患者氏名                  | _____ 様                   |
| 付添期間                  | _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日 |
| 上記のとおり付添が必要と判断し許可します。 |                           |
| 病院長                   |                           |

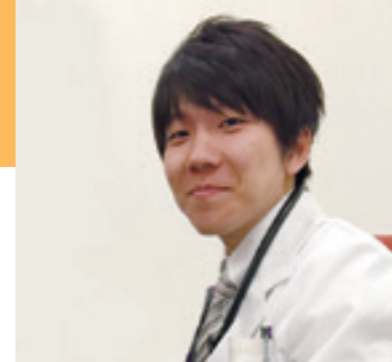
1. ご家族の方は大枠のみご記入ください。  
2. 14日以上の継続は申請書の再提出をお願いいたします。

※本許可証は、家族付添申請が受理された場合に発行されます。  
出車する度に、本許可証のご提示が必要となります。  
破損・紛失等にご注意ください。

(記：病院管理課 課長 西島 大輔)

# 研修医・指導医紹介

## 研修医紹介



2年次初期臨床研修医  
**米元 康祐**(よねもと こうすけ)  
福井県出身

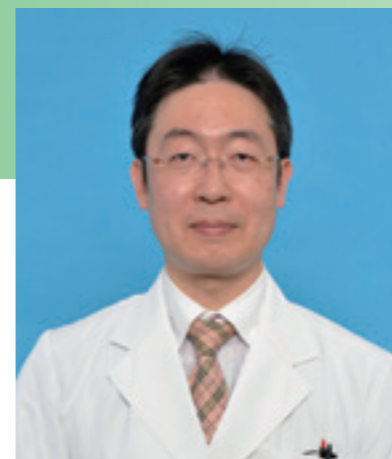
### 【医師を志したきっかけ】

僕が幼いころは両親が共働きで、祖父と祖母がいつも僕に構ってくれました。祖父はずっと病気だったので、3人でよく電車に乗って病院に行っていました。幼い僕にとっては遠足気分であり、祖母はいつもニコニコ話をしてくれました。そして先生に会って、また電車で帰る。そういうことを繰り返しているうちに、気がつけば医者になりたいと思っていました。

### 【臨床研修中に印象に残ったエピソード】

印象に残っているエピソードは十二指腸潰瘍になったことです。その頃は食事も偏り、コーヒー（と少々お酒）ばかりを飲んでいました。するとある朝、ものすごい痛みで目が覚め、ベットから起き上がれませんでした。「ああこのままどうになってしまうのか。」痛みや不安、恐怖で頭がいっぱいでした…。医療現場で患者さんはさまざまな痛み、気持ちを抱えています。一方、医療者は自分が経験したこと以外は想像することしかできません。だからこそ患者さんの痛み、気持ちに思いをはせ、患者さん・ご家族・医療スタッフで今後について考えていくことが重要だと思います。まだまだ至らぬ点多々ございますが、その話し合いや入院生活の中で少しでも皆さま方のお役に立ちたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 指導医紹介



神経内科  
**真田 充**(さなだ みつる)  
大阪府出身

### 【最近の研修医の指導について感じていること】

多様性に富んだ研修システムによって、医師としての総合力が高まっていると思います。高齢化社会が一層加速する現在において、このような研修は非常に好ましいものと思います。

一方で研修分野が多岐に亘るほど、研修医諸君の書物による学習機会が少なくなっている印象があります。インターネットによる情報収集が容易となった今こそ、各研修先での書物による学習を推奨します。

### 【自分の研修医時代との違い】

私が大学を卒業した時代は、入局した医局のみで研修を受ける「ストレート型」でした。その中でも私は幸運にも内科全診療科と救急・集中医療の研修を受ける機会があり、20年以上経った今でも大変貴重な経験となっています。現在の研修システムは、研修終了後に自らの専門を決めることになっていますので、日々の経験と学習が「宝のような経験」となるでしょう。研修医時代が医師にとって一番大切な時間です。毎日頑張って素晴らしい医師となるよう、心より願っています。